

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハチマルニイマル 8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

廣歯連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成23年1月7日
第146号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区宝町5-30 TEL (082) 241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 榎田 博昭



賀正

平成二十三年
広島県歯科医師連盟

写真：県歯連盟員 大石正臣氏(中区)

新年のご挨拶

広島県歯科医師連盟

会長 山科 透



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健康やかな新年をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。一昨年8月の政権交代によって、民主党政権が

誕生して以来1年半が過ぎようとしておりますが、国内においては円高やデフレによる経済不安、雇用不安等の諸問題は深刻さを増すばかりであり、暗いトンネルから抜けられない状況です。また、沖縄の基地移設問題、北方四島・尖閣諸島や竹島における外国の領土侵犯等外交問題においても国民の期待とは裏腹に、明確な政策が示されず、我が国は国益を失い国際社会から遅れをとっているのが現状です。

一方、歯科界においては、事業税非課税の存続、租税特別措置法、共済制度の継続は取り敢えず何とか維持できたものの、差し迫る法人制度改革による新法人への移行、次期診療報酬改定等々難問山積であることは周知のとおりです。そして、これら諸問題の解決には政治力抜きで考えることができず、連盟活動は歯科医師の業権を確保することを基本理念とし、活発な活動を展開していきたいと思っております。

特に、今年は統一地方選挙の年でもあり、念願であった歯科保健条例制定を含め、我々歯科界にとつて重要な年になることは間違いありません。地元選出の石井みどり参議院議員、或いは職域で支援している西村まさみ議員のお力添えを賜りながら、活力があり魅力溢れる広島県の創造に寄与していきたいと思っております。さて、本会においては、一昨年より会務機構改編等検討特別委員会を設置し、法人改革による組織改編並びに定款改正、会館の老朽化に伴う建て替え問題について、幅広い年齢層や各地区を代表される方々にご参画いただき検討を重ねたいと思っております。年度内には答申を

いただく予定であります。これらを基軸にし、本会と連盟は互いに両輪となり今年も安定した会務運営を図り、引いては会員の安全安心な医院経営に繋がりますよう、執行部を挙げて取り組んでいく所存であります。会員諸先生方が、明るい希望を持ち、安心して日々の診療に当たっていただけるよう、また、歯科界が少しでも明るい未来が構築できるよう役員一同全力を傾注していく所存です。連盟員諸先生方はもとより、関係各位の暖かいご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たつてのご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

参議院議員 石井 みどり



新年明けましておめでとうございます。本年も先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、1月18日召集の第174回通常国会において予算委員会や厚生労働委員会を中心に11回質問に立ちました。主として自主共済に関する保険業法改正や公益法人改革、高齢者医療制度、海外歯科技工物問題等について質問しました。また閉中(国会閉会中)審査では、

厚生労働委員会にて子宮頸がんワクチンについて質問に立ちました。第176回臨時国会においては、財政金融委員会にて「保険業法等の一部を改正する法律案」について質問しました。同法案は11月11日財政金融委員会での採決後、翌12日参議院本会議にて可決されました。これを受けて日歯は一般社団法人に移行の場合、共済事業(福祉共済・年金事業)等の自主運営の継続が可能となりました。今後は公益社団法人の認定に向けて公益目的の要件である公益目的事業比率等の課題に取り組むこととなります。明年、診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。我が国は世界に類例のない高齢化社会を迎えようとしています。高

齢化の進展に伴って口腔機能障害を有する高齢者も増加し、また内科疾患と口腔との関連や口腔環境と全身の健康との関連等、高齢者歯科医療の重要性が広く国民の間に認知されてきています。これまでの歯科医療からの構造的転換が求められており、医療としての口腔ケアや咀嚼・嚥下機能療法のリハビリテーションを実際の医療保険や介護保険の評価につなげていくのが、日本歯科医師会を中心とした歯科界あげての総力戦にしているかなくてはなりません。歯科医療のパラダイム・シフトに相応する診療環境が整備されることは言うまでもありませんが、しかしながら診療の現場ではこれに逆行するような行政側の対応が問題となっております。

2007年6月に政府(自公政権)が発表した「骨太の方針2007」の中で、保険医療機関の個別指導数について毎年8000か所を目指す」と明記され、2008年10月に指導・監査の業務は地方社会保険事務局から地方厚生局に移管となりました。その流れの中で、2010年5月、厚生省「行政事業レビュー」が実施され、「医療指導・監査業務等実施要領」の作成が提案されました。さらに2010年7月、厚生省「政策コンテスト」が実施され、表彰対象外となったものの、現職の医療指導管理官により「人事交流により、保険医療監査部門に監視庁捜査二課(詐欺事件等知能犯担当)を招聘すること等、監査に伴う事情聴取等を充実させ、適切な行政処分を可能とする」旨の指導・監査の強化が提案されました。

案し、昨年の11月30日に政調・厚生部会で勉強会が開催されました。日歯・日歯連の役員から指導・監査の現状・問題点についてヒアリングを行い、自民党議員らとの意見交換を行いました。今後は、さらに問題点を掘り下げ、指導大綱・監査要綱の改正を含めた指導・監査の是正を求めて自民党全体で取り組んでまいります。現在、全国各地で口腔保健条例が成立もしくは提出見込みとなつております。制定済みは12道県、提出中が1県、提出見込みが8県となつております。一方で、国会で口腔保健法案は成立の日の目をみえておらず、本年、捲土重来を期すこととなります。職域代表議員として政治の場に身を置いて4年目を迎えました。本年も全力を尽くしてまいります。引き続きのご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

感謝の年頭

理想の歯科医療政策実現を

日本歯科医師連盟

会長 堤直文



新年あけましておめでとうございます。皆様には爽やかに新しい期待の中で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、社会状況の変化や激動する政局の中で、会員の先生方には多大なるお力添えをいただき、第22回参議院比例代表選挙では良い結果を得ることができました。あらためまして心より感謝申し上げます。

第22回参議院比例代表選挙までの経緯を思い起こしますと、平成21年8月には組織代表として推薦候補者を自民党から擁立することまでは決まっておりましたが、その後第45回衆議院総選挙による政権交代が起こり、それを受けて9月の評議員会において野党から候補者を出さないことが決定され、11月には組織内候補者を擁立しないことを決めました。しかし、昨年2月になって、本連盟の会員歯科医師であり与党・民主党の公認を得た西村まさみ候補を支援することとなり、7月11日の選挙に臨みました。国会における政権与党と各都道府県における議会で多数を占める議員の所属政党が異なる「ねじれ」の問題、野党の職支部を各都道府県に設置している状況との矛盾、候補者の支援決定までのプロセスの問題、そして何と云っても時間的制約と準備不足の問題、今まで経験したことのない「支援」という方法での選挙応援の問題等多くの課題を抱えた選挙となりました。先生方にも様々なご意見がある中で、それでもご理解とご協力を得て当選を勝ち取ることができました。これも偏に先生方一人お一人の努力の賜物であり、厚く厚く御礼申し上げます。

後援会活動開始から選挙運動期間中に候補者と共に30余県を訪問しましたが、各都道府県で我々が理想とする歯科医療の推進に候補者と一緒になって前進することに共鳴していただいた多くの先生方にお会いできたことは大変貴重な財産となりました。先生方の熱い思いを今後の連盟活動に活かして行きたいとの思いであります。

現在、政権与党である

民主党内には歯科医療議員連盟が設立されており、歯科医療に関する問題の改善に向けていろいろと議論していただいています。また、自民党内では与党時代に設立された国民歯科問題議員連盟において、引き続き歯科医療に関する問題を議論していただいています。

政党政治の中で今後とも各党にご理解をいただきながら、本連盟の目的である社団法人日本歯科医師会が目指す理想とする歯科医療の実現のために、必要な政治活動を行い、会員の診療環境向上を目指し、もって国民歯科医療の発展に寄与できるように今後とも活動してまいります。

近年、歯科医療と全身の健康の関係、言葉を換えれば、その健康を左右するのは歯科医療、口腔医療であるということが多くの人々に広く知られる所となりました。私がお会

新年明けましておめでとうございます

衆議院議員 岸田文雄

平成23年の新春を健やかに迎えになりましたことをお慶び申し上げます。

旧年中は参議院選挙を通じて貴重なご指導をいただきましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

さて政治の混乱が続いています。昨年の政権交代から一年五か月。その間、政治の混乱の質が変わってき

国民全般の利益と幸福のために奉仕し、国民大衆とともに民族の繁栄をもたらす、それぞれの地域や職域を代表する政党である。立憲の原則に立ち返り、この選挙を政権奪取のスタートとして全力で取り組む覚悟です。

さて、日本経済は依然として円高による金融不安の解消が進まず深刻な状況に陥っていると感じています。菅総理や財務大臣の軽率な発言や、日本銀行による為替介入も功を奏せず日本経済は大きな損失を生んでしまいました。雇用についても喫緊の課題として対策本部を設置しましたが、効果的な対策もなく失業者は行き場を失い、今春卒業予定の多くの学生もいまだ就職が決まらず将来の不安は募るばかりです。与党の政策を大幅に見直すことが重要であることはあきらかで、子ども手当や高速道路無料化、農業の個別補償制度等バラマキ制度を即時停止し財源を確保することが大切と考えます。

一方、外交においては尖閣諸島沖で中国漁船が巡視船に衝突し、船長を公務執行妨害で逮捕しましたが、その後処分保留のまま釈放するといふ前代未聞の対応には開いた口がふさがりません。また、北方領土の国後島をロシアの大統領が訪問した問題も菅総理は遺憾の意を表明するにとどまっています。いずれもわが固有の領土であり他国の主張には正当性は全く無く、ましてや領土内で嫁体質、目的を喪失した国のリーダー、といった基本的な問題が潜んでいます。

今年日本の経済、外交、社会保障等、さまざまな分野で転機となるような大切な年となりそうです。

私も一層心を引き締めて政治に取り組んでいきたいと存じます。

国民にとっては不透明な時代だからこそ最大の関心事は自らの健康です。広島県歯科医師連盟の先生方におかれましては口腔の健康確保を通して国民の健康をしっかりと見守っていただきますようお願い申し上げます。

先生方のご発展、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

融和の国へ

衆議院議員

中川秀直



平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、新年をお迎えのこと、謹んでお慶びを申し上げます。

今、日本は急速な衰退から急激な劣化に代わりつつあります。民主党政権の政策は、

尖閣事件、普天間問題、デフレ不況、就職難・失業急増等、世界の大変化の中で大きな問題になっています。

無駄の削減、天下り根絶、格差是正はどこへいつてしまったのでしょうか。民主党への期待は大きな失望に代わっています。

そして新年、新しい歴史を創る第一歩を踏み出すべき時を迎えました。時代が求めているのは批判することだけではなく、新しい日本の進路を確立することです。

未来が見えない中で、どうすれば皆が努力し、その努力が報われるのか。今こそ、大きな歴史観

に立つた政治が必要です。デフレの克服、尊厳・開国、新しい成長戦略、社会保障制度の与野党合意、新しいアジア集団安全保障の確立に向けた前進に取り組みます。

坂本竜馬の時代、黒船来襲が近代日本をつくりました。そして今、昨年の尖閣漁船来襲が新しい時代の幕開けを告げています。

対決を乗り越えて融和の国へ。そして「新たな開国」。

皆さま、共に新しい国を創っていきましょう。どうぞ、変わらぬご指導賜りますようお願い申し上げます。

終りになりましたが、本年が皆さまにとりましても幸多い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

再生にむけて

自民党両院議員総会長

参議院議員 溝手顕正



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現象となり、法案は与党の横暴な国会運営では成立することが出来ず、野党としての所期の目的は達成されたと考えます。

ただ、民意は自民党に期待したわけではなく、与党に失望した結果で、その多くは第三勢力が受け皿になったことを忘れてはなりません。さらに選挙結果の分析をもとに、国民民主党として自民党を再構築し皆様の負託に応えなければなりません。

本年は統一地方選挙が施行されますが、単に地方選挙と考えることなく自民党は真剣に取り組むことが大切です。わが党は、

国民全般の利益と幸福のために奉仕し、国民大衆とともに民族の繁栄をもたらす、それぞれの地域や職域を代表する政党である。立憲の原則に立ち返り、この選挙を政権奪取のスタートとして全力で取り組む覚悟です。

さて、日本経済は依然として円高による金融不安の解消が進まず深刻な状況に陥っていると感じています。菅総理や財務大臣の軽率な発言や、日本銀行による為替介入も功を奏せず日本経済は大きな損失を生んでしまいました。雇用についても喫緊の課題として対策本部を設置しましたが、効果的な対策もなく失業者は行き場を失い、今春卒業予定の多くの学生もいまだ就職が決まらず将来の不安は募るばかりです。与党の政策を大幅に見直すことが重要であることはあきらかで、子ども手当や高速道路無料化、農業の個別補償制度等バラマキ制度を即時停止し財源を確保することが大切と考えます。

一方、外交においては尖閣諸島沖で中国漁船が巡視船に衝突し、船長を公務執行妨害で逮捕しましたが、その後処分保留のまま釈放するといふ前代未聞の対応には開いた口がふさがりません。また、北方領土の国後島をロシアの大統領が訪問した問題も菅総理は遺憾の意を表明するにとどまっています。いずれもわが固有の領土であり他国の主張には正当性は全く無く、ましてや領土内で

年 頭 所 感

あけましておめでとうございます

衆議院議員

河井 克行



広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、輝かしい平成23年の新春

をお迎えになったことを心よりお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことをお祈り申し上げます。
私は国家の主権と国益を守る政治を創るために全力を尽くしてまいります。ご指導を心よりお願い申し上げます。

年 頭 所 感

参議院議員

宮沢 洋一



新年明けましておめでとうございます。広島県歯科医師連盟の皆様にお

かれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は、山口選会長はじめ会員の皆様には、格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。とりわけ夏の参議院議員選挙におきましては、皆様方のお力添えにより

まして、大変立派な成績で当選させていただきましたことができた。皆様方の「ご支援」ご協力に改めて厚く感謝申し上げます。支持率急落にも表れていきますように、現政権下の国内情勢は混迷を極めていきます。
問題点をしっかりとあぶり出し、正すべきをしっかりと正していくことが、今の我々に課せられた使命であると考えます。

私たちは、もつと未来を見据え、5年後、10年後、30年後と、明るい将来を、明るい希望を、確信できるような政治を実現しなければなりません。
私は、そのための将来の青写真をしっかりと描き、工程表をお示しし、皆様に「これなら一緒に汗をかこう」と言っていただけのような未来図をつくりあげる作業を、とことんやって行きたいと考えています。

お陰様で、参議院議員として6年間、しっかりと政策づくりができる大変ありがたい立場をいただきました。
歯科保健・医療は高齢者や要介護者にもとより国民の健康を守るための欠かせないものです。口腔保健法をはじめ歯科医療の更なる推進をはかるためにも政治が引き続き取り組んでいかなければならない問題は、まだまだ山積しております。私

といたしましても広島県歯科医師連盟の先生方の声をしっかりと聴かせていただき、精一杯努力を重ねてまいります。
最後になりますが、本年一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、広島県歯科医師連盟の益々のご発展と会員の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。私の年頭に際してのご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

参議院議員

西村 まさみ



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、皆様方より多大なるご支援を賜り当選させていただきましたことを、心より厚く御礼申し上げます。

昨年7月11日の当選後、はや半年が過ぎましたが、政権与党の一人として歯科医療政策の実現に向け邁進しております。

昨年11月16日の厚生労働委員会では初質問を行いました。総論ではありましたが、歯科界の現状と山積している問題を厚生労働大臣に述べさせていただきました。

また、日歯の重点要望である所得計算の特例措置と事業税の非課税措置の存続について、日歯、日歯連盟役員と共に、連日関係議員のもとに伺い説明して参りました。その結果、民主党のとりまとめではいずれも「経営的に厳しい環境におかれている歯科をはじめとす

る医療機関に配慮しつつ検討すべき」との文言が記載されました。党のとりまとめでの通り決定されるよう政府にも引き続きお願いをして参ります。

さらに、「保険業法の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」が昨年11月12日に成立し、日歯福祉共済制度及び日歯年金制度の自主運営の継続が可能となりました。公益法人認定への次のステップに向けさらなる努力を続けます。

歯科に関する法律の早期制定にしましては、民主党歯科医療議員連盟（小沢鋭仁会長）を中心に議論を進めております。この議連には民主党の歯科医師である大久保潔重参議院議員、川口浩水野野智彦両衆議院議員が参加し、4名で一致団結してまいります。私は事務局次長として議連の運営に当たっております。また、議連内の指導・監査部門、歯科技工士、歯科衛生士の3部門の副座長を担当することになりました。

この議連の運営を通して、喫緊の課題の解決に向け、本年も引き続き尽力して参りたいと存じます。

年頭のごあいさつ

広島県知事

湯崎 英彦



新年明けましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、新たな挑戦のための「仕込み」と「基盤づくり」の年と位置づけ、様々な取り組みを進めてまいりました。

県民起点、現場主義、成果主義を県政運営の基本とした、職員の意識と組織の改革や事業仕分けの実施、私自ら県民の皆様から御意見を伺い、お聞きする「湯崎英彦の宝さがし」の実施など、「顔が見える県政」の具体化を進めてまいりました。

また、瀬戸内の資源や人をつなぎ発信する「瀬戸内 海の道構想」などの重要プロジェクトに着

手するとともに、10年後を見据えた県政運営の基本となる「ひろしま未来チャレンジビジョン」など、各種構想や計画づくりに取り組んでまいりました。

今年、明るい未来の実現に向けた「実行の年」です。
現在、人口減少や少子高齢化、経済活動を始めることのない大きな変化が進んでおり、今、まさに時代の岐路に立っています。

私は、こうした時こそ、失敗を恐れず、今までの以上に改革に果敢に挑戦していくことが重要であると考えています。

広島県が有する「強み」を活かすこと、様々な分野において「イノベーション」を起こすこと、「グローバル化」に的確に対応すること、さらに、自ら問題意識をもって挑戦しようとする人々たちを応援することで、「県民主体」の広島県づくりを行

うこと、市町や近隣県との「連携」を図ることの5つの視点を大切にしながら、「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な地域づくり」の4つの「挑戦」に積極的に取り組んでまいります。
特に、今年、すべての分野の基盤となる「人づくり」と、雇用や所得を生み出すエンジンとして位置づけている「新たな経済成長」を重点2分野として集中的に取り組むこととしており、「瀬戸内 海の道構想」や「産業革新構想」などの具体化を進めてまいります。

年頭のごあいさつ

広島県議会議長

林 正夫



新年明けましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟の皆様方には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、平素から歯科医療を通じて、県民の健康増進と公衆衛生の普及向上に多大な御尽力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年7月には、梅雨前線による記録的な集中豪雨が発生し、県内各地で死傷者を出すなど、甚大な被害をもたらしました。

このため、臨時会を召集し、災害対策に係る補正予算を可決するとともに、被災者の生活再建と被災箇所早期復旧に取り組んでまいりました。

改めて、本年が災害のない明るい一年となりますよう願うところであります。

国においては、昨年6月に閣議決定された「地域主権戦略大綱」に基づき、地方行政に重大な影響を及ぼす制度の検討が進められております。参議院議員選挙後の不安定な政局の中で、今後の進捗見通しは不透明ではありますが、地域住民が自らの判断と責任で地域の諸課題に取り組む真の分権型社会を実現するためには、政策立案や監視機能といった議会機能の充実強化が必要不可欠であります。

こうした中、昨年6月定例会から、本会議における一般質問において従来の一括質問方式と一問一答方式との選択制を試行的に導入するなど、取り組みを進めております。今後とも、より一層の議会改革に積極的に取り組むとともに、県民の皆様への付託と御期待に応え、先生方からいただいた声を施策に反映すべく、引き続き努力してまいります。

新年のごあいさつ

自由民主党広島県支部連合会
幹事長 宇田伸



新年あけましておめでとうございませう。

広島県歯科医師連盟の皆様には、お健やかな新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

広島県連は、昨年の7月の参議院選挙候補者選にあたり、県連史上初めて公募を導入し、最終選考は党員投票により宮沢洋一さんを決定いたしました。選挙戦では歯科医師連盟の皆さんの絶大なご支援を頂き、所期の目的を達成することが出

ては、広島県歯科医師連盟の皆さまと連携をとり、少子高齢社会に対応した日本型福祉社会の実現に向け、引き続き全力を傾注してまいります。本年は、4月に統一地方選挙が執行されます。昨年の参議院選挙では、一定の評価を頂きまし

た。これを第一ステップに、この統一地方選挙を、責任ある政党として将来にこの自由な日本を、間違いなく引き継ぐため勝ち抜き、政権奪還に向け邁進する覚悟でございませう。引き続き、変わらぬご支援を、わが党の候補に賜りますようお願いいたします。

最後に、新しい年が皆様方にとって、明るく輝かしい年になりますよう祈念し、ごあいさついたします。

平成21年度 広島県歯科医師連盟会計決算書

(自 平成21年4月1日 ~ 至 平成22年3月31日)

科 目		予 算 額	収 入 済 額	予算との差額	摘 要
款	項				
1. 会 費		26,310,000	26,040,000	270,000	
	1. 会 費	26,310,000	26,040,000	270,000	年額20,000円
2. 寄 付 金		7,837,000	12,730,700	4,893,700	
	1. 寄 付 金	7,837,000	12,730,700	4,893,700	地方政治活動費他(日歯連盟)
3. 雑 収 入		1,000	2,661	1,661	
	1. 雑 収 入	1,000	2,661	1,661	預金利息等
4. 繰 越 金		1,200,000	2,533,731	1,333,731	
	1. 繰 越 金	1,200,000	2,533,731	1,333,731	平成20年度決算金
収 入 合 計		35,348,000	41,307,092	5,959,092	

科 目		予 算 額	支 出 済 額	予算との差額	摘 要
款	項				
1. 経 常 経 費		13,181,000	12,450,001	730,999	
	1. 人 件 費	9,251,000	9,021,033	229,967	職員給与・福利厚生費
	2. 光 熱 水 費	60,000	64,875	4,875	
	3. 備 品 消 耗 費	50,000	50,000	0	
	4. 事 務 所 費	3,820,000	3,314,093	505,907	各事業会計経費負担金 電話料・振込手数料
2. 積 立 金		3,880,000	3,880,000	0	
	1. 役 員 退 任 慰 労 積 立 金	3,880,000	3,880,000	0	平成21年度積立金
3. 政 治 活 動 費		17,807,000	21,370,017	3,563,017	
	1. 組 織 活 動 費	8,887,000	14,507,454	5,620,454	会議費・組織対策費・ 支部交付金等
	2. 選 挙 関 係 費	1,000,000	465,696	534,304	撤文・推薦状作製代
	3. 寄 付 金	5,500,000	4,383,784	1,116,216	陣中見舞・寄付金
	4. 調 査 研 究 費	200,000	14,930	185,070	資料費
	5. 機 関 紙 誌 の 発 行 事 業 費	2,220,000	1,998,153	221,847	連盟ニュース発行費及び送料他
4. 予 備 費		480,000	0	480,000	
	1. 予 備 費	480,000	0	480,000	
支 出 合 計		35,348,000	37,700,018	2,352,018	

(上記支出科目中、款内各項間の流用はこれを妨げない。)

収 入 合 計 41,307,092円
支 出 合 計 37,700,018円
差 引 残 高 3,607,074円

上記について、諸帳簿ならびに証拠書類と照合の結果、適正に処理されていることを認める。

平成22年7月13日
広島県歯科医師連盟
監 事 夫正太
" 和利通
" 沖久保
" 三 木 宅

新年のごあいさつ

広島県議会議員 石橋良三



新年明けましておめでとうございませう。

広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、現在、日本は混乱を極めております。それは一昨年の「政権交代」

から迷走を続ける民主党政権の無定見ぶりに依ることには言までもありません。民主党政権は、日本の基軸であった日米同盟を大いに傷つけました。その結果、何が起ったかといえば、昨年9月の尖閣事件でありました。我が国固有の領土である尖閣諸島海域において領海侵犯・不法操業をしていた中国漁船が、我が海上保安庁巡視船に体当たりを食らわせたのであります。中国漁船「ミ

ンシンリヨウ5179」は逮捕拘留致しました。中国政府の横暴を極めた圧力により船長を処分保留のまま釈放してしまつたのであります。これは我が国の法治を揺るがすのみならず、我が国の主権を揺るがしてしまつたのであります。それを見て好機至れりと我が北方領土に土足で足を踏み入れたのがロシアのメドベージェフ大統領でありました。日本が有効な対抗手段をとれないと見切つた所業であつたといわねばなりません。また、北朝鮮の韓国砲撃は対岸の火事では済みません。

ウラン濃縮施設を公開するなど従来の瀬戸際外交の枠を遥に超えた挑発をエスカレートさせているのであります。今年是我が国にとって正に正念場の年になるかと存じます。

このときに当って国民として「自分の国は自分で守る」との覚悟が問われていふと思つたのであります。50年後100年後を見越して我が国を如何なる国として存立させてゆくのかという国家100年の計が問われる、今年には正にそのような年に幕末維新の指導者、西郷隆盛は遺訓の中で次のように述べています。

「正道を踏み国を以て驚るの精神無くば、外交際は全かる可からず。彼の強大に萎縮し、円滑を主として、曲げて彼の意に従順する時は、軽侮を招き、好親却つて破れ、終に彼の制を受くるに至らん」この精神を把持し、幕末を想起すれば当面する国難は必ず乗り越えることが出来ると確信いたします。

新しい年の初めに私たち一人一人が国家のために何が出来たのか、次の世代にこの国をきちんと受け渡すために何をなすべきなのか、まさに今、政治が問われているところでありませう。

連盟支部だより

安佐支部

山崎正博広島県議会副議長就任祝賀会

10月5日(火)午後6時より広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で標記の会が開催された。これは安佐北区選出の山崎正博県議が第100代が出席した。

自由民主党広島政経文化セミナー

10月24日(日)午前11時より広島市中区リーガロイヤルホテル4階「クリスタル」で標記の会が開催された。谷垣禎一総裁が「もう一度、世界で一番の日本をめざして」と題して講演を行った。自民党は新しく綱領を党再生の礎と

新年明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひします。連盟の少しでも明るい、よりよい情報をわかりやすくお伝えできるよう頑張りたいと思つております。(泰)

新年明けましておめでとうございませう。支持率がこのところ下がりっぱなしの菅内閣。今年は、国民が感嘆するようになり死回生の政策を編み出してくれないであらうか。と何気に首相が秘策をもっていることに私は期待しています。(丁)

新年明けましておめでとうございませう。昨年は夏の選挙で民主党の惨敗があり、また衆参のねじれ現象がある。今年も歯科界の代議員が歯科界のために大いに活躍してほしいです。今年もよろしくお願ひします。(S)

新年明けましておめでとうございませう。また昨年の参院選での西村まさみ氏の当選おめでとうございませう。本年は統一地方選挙の年である。どうなるかわからない政権だが、歯科医師会として石井みどり・西村まさみ両議員による相乗の力で、明るい歯科界へと導いて頂きたい。(志)

編集後記